

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自立生活訓練			事業番号	011-109
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	第4次障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画・第1期堺市障害児福祉計画						
3	事業開始年度	平成 16 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称・障害者総合支援法)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、障害福祉サービス事業者					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市の区域内に住所を有する義務教育終了後の15歳以上で、障害者手帳を所持する者等。 (18歳以上の障害者手帳を所持する者 約59,000人)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域で自立して生活をしていくことを希望する障害者(児)に適切な日常生活訓練の機会を提供することにより、障害者(児)の自立生活に必要な力及び自立意欲を高めるきっかけを作る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> これまで家族からほとんど離れたことがない障害者(児)が、慣れた支援者が傍に付いた状態で家族と離れて外泊し、宿泊体験を通じて成功体験を積みながら、将来の自立生活につながるきっかけ作りを行う。 事業所の空き部屋などを利用する。 登録事業者を募集し、利用者から体験希望があれば、委託契約(単価契約)を行う。 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	障害福祉サービス事業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 訓練人数	人	目標値	-	7	7	7
		実績値	7	2		
		達成率	-	29%		
当該指標を選定した理由		本事業は、将来の自立生活につながる第一歩(きっかけ)であり、訓練人数が事業の効果であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		訓練実施人数				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 訓練利用者の満足度	%		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	80	80	80	
		実績値	100	100		
		達成率	125%	125%		
当該指標を選定した理由		次回の体験等への意欲につながっているか等、本事業の効果を計れるものであるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		訓練利用終了時の利用者アンケート				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自立生活訓練	事業番号	011-109
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	323	751	701	152	665
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	323	751	701	152	665
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,143	1,561	1,521	972	1,485

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	自立生活訓練事業委託料	R2 決算	152	152	R2 決算		
		R3 予算	665	665	R3 予算		
	R2 決算			R2 決算			
	R3 予算			R3 予算			
	R2 決算			R2 決算			
	R3 予算			R3 予算			
	R2 決算			R2 決算			
	R3 予算			R3 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 訓練人数	人	7	2
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,561	972
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	223,000	486,000
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訓練を自粛された方が多く、目標人数を達成できなかった。訓練人数が少なかったことにより、単位当たりの経費が高くなっているが、感染防止対策も講じながら、障害者（児）の自立生活に向けた訓練の場として事業の継続が必要である。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和2年度は、訓練を実施した2名のうち、1名は訓練を重ねてグループホームに移行することができ、またもう1名は初めて家族と離れて過ごす体験をすることができ、地域で自立して生活をしていくことを希望する障害者の自立生活に必要な力や自立意欲を高めるきっかけとなり、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与した。
----	---